

## 第4回 東かがわ市基本構想審議会 報告書

【日時】令和5年5月10日（水） 10:00 ～ 12:00

【場所】東かがわ市交流プラザ 2階 第3・第4講座室

【参加者】東かがわ市基本構想審議会委員 8名（1名欠席）

総務部長、財務課長、経営グループリーダー、経営グループ担当  
基本構想ワーキンググループ 5名

【審議会内容】（1）次期東かがわ市基本構想（案）について

（2）次回審議日程等について（基本構想策定スケジュール、審議会開催予定等）  
第3回審議会で審議した、素案からの変更点等を事務局より説明し、次期基本構想（案）について委員各位より意見を頂いた。

【審議会委員 意見】上段：審議会委員意見、下段：事務局回答

|   |   |
|---|---|
| 1 | <p>基本的理念の「つながる・ともに・つづく」の位置付けはどのように整理しているか。</p> <p>次期基本構想本文-基本的理念に記載</p> <p>つながる：「つながる」は、様々な主体を通じた「たて・よこのつながり」による輪の広がり、ふるさとへの縁・地域愛着、チャレンジによる連携・共創、まちづくりと経済活性化の循環を意図している。</p> <p>ともに：「ともに」は、様々な主体による「認め合い・支え合い」の精神、地域協働・共助意識の深まりによる「まちづくり意識」の醸成を意図している。</p> <p>つづく：「つづく」は、「つながる未来」という現在から未来への時間軸への意識を持ち、持続可能・持続的発展による循環型社会を目指すまちづくりを意図している。</p> |
| 2 | <p>「ビジョン4 <u>こどもたちの未来につながる</u>」について、「<u>未来につづく</u>」との表現の違いは。</p> <p>「ビジョン4 <u>こどもたちの未来につながる</u>」については、将来を担うこどもたちの成長について、「地域のつながり・世代間の交流」を深めることで、地域でこども、子育て環境を育み、<u>こどもたちの未来につながる環境</u>を築くことに主眼を置いている。</p>   |
| 3 | <p>「ビジョン5 <u>新たな活力とともに未来につづく</u>」について</p> <p>①基本的な方向性の「新たな活力との連携」の説明文中の「民間事業者等とのつながり」の主体は何を指しているか。</p> <p>②基本的な方向性の「官民連携により社会的課題を解決」と「新たな活力との連携」との違いは。</p> <p>①「新たな活力との連携-民間事業者等とのつながり」の主体については、「行政と民間事業等」との連携（官民連携）に合わせて、「民間事業者間」の連携についても主体に含めた</p>  |

|    |  |
|----|--|
|    | <p>表現である。</p> <p>②「官民連携により社会的課題を解決」については、社会的課題の解決に向けた手法の一つとして、「官民連携事業の取組」を推進することを指している。また、「新たな活力との連携」は、官民連携を含めた民間事業者等との連携体制・環境の整備により、新たな価値の創造、スタートアップ等の環境を整備することを指している。</p>  |
| 4  | <p>基本的理念「つづく」の説明文について、「そとから」を削除したのはなぜか。</p> <p>そとからだけではなく、<u>うち（市民・市内事業者等）</u>からもまち・まちづくりの「可能性、夢、希望」を抱いていただけるような「未来につづく」取組を推進するため。</p>   |
| 5  | <p>行政（市役所）の他の主体との関わり方はどのように整理しているか。</p> <p>基本構想内には、行政の関わり方について具体的な表現はない。「将来像のイメージ図」の説明文の追記等を検討する。</p>  |
| 6  | <p>将来像「つながる未来を ともに創るまち 東かがわ」について、つながった先の東かがわ市をイメージすることが大事である。（つながった先にどう変わるか、どうしたいか・・・）基本構想において、「将来像」の表記が、一番表に出ていくので、具体的な取組を表現してもいいのではないか。</p> <p>基本構想の位置付けとしては、本市の目指すべき将来像を示すものであり、全ての事業につながる、総花的な表現している。基本構想の下に、総合戦略や基本計画が紐づき、具体的な取組を整理する体系となる。将来像の説明文として、「つながる先に何をを目指すか」等についての追記を検討する。</p> |
| 7  | <p>基本的理念の説明文中の「東かがわ だと・なら・だから ○○○」の表現について統一してはどうか。</p> <p>《回答》・・・「なら」に変更する。（「東かがわ なら つながる」・「東かがわ なら ともに」・「東かがわ なら 未来につづく」）</p>   |
| 8  | <p>パンフレットの作成に当たって、「色覚障がい」の方向けへの印刷物やデータ提供等の対応を検討してはどうか。</p> <p>策定後に作成予定としている、パンフレットの作成やHPについては、「色覚障がい」の方への対応やユニバーサルデザイン等を研究し、多くの方に伝わるように検討していく。</p>   |
| 9  | <p>「ビジョン1 基本的な方向性 ①うちからもそとからも愛される ②ふるさとに愛着を抱く」の違いは。</p> <p>①市民（うち）の地域愛着・定住促進に合わせて、市外（そと、関係人口等）からの移住促進・投資等に興味を持っていただくために、まちの魅力を深める取組を指し、②は、市民に「ふるさと」の自然・伝統・文化・歴史に興味・関心を持ってもらうことで、ふるさとへの愛着を深め、ライフステージ毎でのふるさとへの回帰意識を高めることを主眼とする。</p>  |
| 10 | <p>策定後の周知方法や周知場所を検討する必要がある。若い人たちは、文章は読んでくれない。つくって、「どう伝えるか」が大事である。</p> <p>HP だけではなく、発信方法も検討していかなければならない。発信方法については、動画配信等が有効である。市民の方にアクセスしてもらうこと、興味を持ってもらうことが</p>   |

|    |  |
|----|--|
|    | <p>大事である。</p> <p>基本構想内には、イメージ図等を挿入し、市民等にとって分かりやすい構成を意識して、調整していきたい。周知・共有の仕方や取組については、「見せ方・伝え方」や情報発信の手法を検討していく。</p>   |
| 11 | <p>まちの現状と課題の整理については、どのように行ったか、具体的に記載すべき。</p> <p>「まちの現状と課題」については、分析結果等を取りまとめ、構成等を再整理する。現状・課題から解決に向けたフローの図示化を検討する。</p>   |
| 12 | <p>「まちの現状・課題」の「本市の人口の現状」は県内他市町との比較ではなく、東かがわ市の人口の現状（人口減少・少子高齢化）について記載するほうがよい。デジタル化と官民連携を推進する目的を記載したほうがよい。</p> <p>「まちの現状と課題」については、構成等を再整理する。</p>   |
| 13 | <p>「まちづくりの課題」の「<u>進学</u>、就職、結婚、住宅取得等のライフステージの転換期での市外転出が多い。」について、「進学」は不要である。（進学に伴う転出自体は、悪いことではない。その後、ふるさとに帰ってこないことが課題である。）また、「行政だけ（市役所だけ）ではなく、官民連携の取組により社会的課題解決とまち・経済の活性化を図る必要がある。」について、「行政だけではなく」は不要である。</p> <p>「進学」・「行政だけ（市役所だけ）ではなく」を削除する。</p> |
| 14 | <p>課題と基本構想・基本的理念・まちづくりビジョンの関係性はどのようになっているか。</p> <p>「まちづくりビジョン」の「基本的な方向性」の「見出し」については、「目的・方向性」の表現に統一し、その下に手段を表記してはどうか。</p> <p>まちづくりの課題を整理し、まちづくりビジョン毎に課題を整理している。「基本的理念」と「まちづくりビジョン」の関係性を整理する。（ロジック的な整理資料を作成し、基本構想本文の別冊資料として整理する。）</p>              |
| 15 | <p>「基本構想を実現するために」について、対象が何か分からない。</p> <p>説明文を追記する。行政としての行財政運営や体制について整理するものである。</p>   |
| 16 | <p>次期基本構想の公開方法はどのようにするか。</p> <p>主にはHPに掲載し、概要版パンフレットを作成する。合わせて対話会等の周知・共有活動に取り組んでいきたい。</p>   |
| 17 | <p>10年後、東かがわ市の人口は確実に減っている。この現実を踏まえて、注力する取組について具体的に記載してはどうか。（子育て・DX・官民連携等注力施策）</p> <p>現状の課題・推進内容、取り組みの流れが分かるような全体的な整理を行う。具体的な施策については、基本構想に紐づく、各基本計画による整理となる。</p>  |
| 18 | <p>市のスタンスをはっきりと示したほうが良い。（重点施策【子育て・官民連携等】、まちづくりビジョンの優先順位等）まんべんなくでは変化が出ないのではないかと。</p> <p>まちづくりの課題やその課題解決の対策を「図示化」して整理したい。ビジョンの優先順位の設定は、基本構想の性質上難しく、予算や市議会、市長公約等で示すこととなる。</p>   |